

「加賀の國」魅力ある地域づくり メディア等とのマッチング商談会業務 仕様書

1 業務名

「加賀の國」魅力ある地域づくり メディア等とのマッチング商談会

2 業務目的

北陸新幹線金沢開業を契機に多くのメディアに加賀地域も取り上げられたことで賑わいを見せたが、その効果も一段落し、来訪者数やメディアへの取り上げられ方も落ち着きをみせた。2020年には新型コロナウイルスが発生し、観光関連分野は甚大な打撃を受けた。

2023年には加賀立國 1200年、いしかわ百万石文化祭 2023、更に2024年春には北陸新幹線敦賀開業を控え、交流機会の拡大が見込まれる。アフターコロナも見据えて、反転攻勢となる賑わい再創出の必要がある。

従来、「加賀地域連携推進会議」（以下、「オール加賀会議」という。）では、イベントの開催や印刷物の作成を中心に広域情報発信を行ってきた。

コロナ禍での経験から新たな観光様式も生まれ、旅の価値観も変化すると予想される中、加賀の國の魅力をより向上させるには、一過性ではない関係人口の視点も取り入れた、これまでとは異なったツーリズムの推進とそのパートナー開拓が求められる。

本事業は、アフターコロナを見据え、多岐にわたる専門分野の事業者を招聘し視察と商談機会を持つことで「加賀の國」応援ネットワークを構築していくことを目的とする。

3 業務期間

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

4 業務内容

主な業務内容は次のとおりとします。

(1) メディアはもとより多岐にわたる業態の事業者と、地元の自治体やDMO・観光協会、観光事業者等との商談会を開催

① 一つの分野に偏ることなく、特にアフターコロナを意識した新たな旅の形態にも精通した事業者を組み入れること

② 事業者は10社程度を招聘し、従前型の観光商談会との違いや特色を打ち出すため、旅行会社は2社程度とすること

具体的な招聘事業者候補を企画提案書に10社程度明記すること

- ③ 地元側参加者についてはオール加賀会議事務局との連携を図った上で、事業者と同数程度で調整すること
 - ④ 円滑な運営を行うことができる適切な会場手配ならびに実施運営方法について提案すること
- (2) 商談会前段の加賀の國エリア6市町のエクスカッション視察等の実施開催
- ① 商談会の実効性を高めるため、対象市町の事前視察ツアーを企画実施すること
 - ② その視察ツアーの評価が商談会に生きる工夫を行うこと
 - ③ 出展する事業者とは事前の説明会または個別のミーティング等を実施し、事業者ごとの温度差をなくしスムーズな運営に努めること
- (3) その他の留意事項
- ① 商談会および視察ツアーの実施に際しては除菌や検温をはじめとした新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じること
 - ② 特に商談会についてはゆとりのある会場確保とアクリルボードの設置は必須とし、それにかかる諸経費も計上すること

5 検査確認

情報内容や制作過程の都度、校正及び内容確認を行うとともに、放送・掲載した成果品を納入すること。

6 その他

業務にあたっては、オール加賀会議の構成自治体の掲載バランスに配慮すること。

また、著作権、肖像権等に配慮するとともに、個人情報保護について関係法令等を遵守すること。